お茶の水の子
No.6
令和6年9月30日
千代田区立お茶の水小学校
校長　伊藤　栄司

陸上記録会

校長　伊藤　栄司

厳しい残暑も一段落し、涼しげな秋風がピロティを吹き抜ける季節になりました。子どもたちは、１０月１９日に行われる運動会に向けて練習に励んでいます。新校舎での初めての運動会になりますので、子どもたちの動きや応援席の位置、保護者、地域の皆様の参観場所など一つ一つ確認しながら準備を進めています。綺麗な校庭で表現される力いっぱいの演技・競技をお楽しみください。

新国立競技場での記録会

９月１１日に１１年ぶりに国立競技場で陸上記録会が行われました。以前は、小中陸上競技大会として実施しており、私も担任時代に子どもを引率して各種競技に参加させていました。中学校とも合同で実施していたので中学生の迫力ある走りや応援の力強さに圧倒されたことをよく覚えています。

毎年の恒例になっていたのですが、国立競技場が建て替えのため使えなくなり、しばらくの間は、四谷グラウンドで小学校のみ５０ｍ走やハードル走、学校対抗リレー等記録会を行っていました。この記録会もコロナ禍のため中止になってしまった歴史があります。

新国立競技場が完成し、たくさんの方のご尽力によりこの度、「千代田区立小学校陸上記録会」として新たにスタートしました。

大活躍の６年生

世界中のアスリートが参加した東京オリンピック・パラリンピック２０２０のメインスタジアムとなった新国立競技場のトラックを使って、男女ともに５０ｍ走、１００ｍ走の記録を測定しました。特にメインスタンド側で測定する１００ｍ走は選手の名前や記録、走る姿等が会場に設置されている２台の大型スクリーンに映し出され雰囲気を盛り上げてくれます。まるでテレビの中継に映し出されているような感覚があり、走る子どもたちの気持ちは高まります。直線での１００ｍはほとんど走る機会がないので、70ｍくらいから疲れが見える子もいましたが、全員最後まで力いっぱい走ることができました。

男女ともに優勝の快挙

午後の競技は、男女の４×１００ｍリレーでした。最初は女子のチームが走りました。日本陸上連盟のスターターの合図で第一走者が勢いよく飛び出し、第二、第三、第四とスムーズなバトンパスが続きます。メインスタンド前に来る頃には、２位と２～３メートルくらい差を広げる快走で見事に１位になりました。記録は１分０１秒８３でした。

また、男子も同じように第一走者から第四走者まで、スムーズなバトンパスと一人一人の走力の高さによって２位以下に大きな差をつけ１位になりました。５６秒４０の記録はしばらく残るのではないかと思われる快走でした。

リレーはバトンパスの技術がとても重要です。選手の８人は２学期に入ってから毎日、朝の時間を使ってバトンパスの練習を重ねた成果を見事に発揮してくれました。記録にも記憶にも残る第１回陸上記録会になりました。